

スクリプト概要

本アプリケーションは複数のスクリプトを使用し、処理を行っております。

スクリプト名	種類	説明
Excel_To_QA_Claude_convert	メイン	LLM（Claude）を用いて、指定したExcelファイルをQA形式のCSVファイルに変換
Excel_To_QA_Claude_dump_sheet_text	サブ	指定したExcelファイルのシートからデータを抽出
Excel_To_QA_Claude_validate_limits	サブ	Excelファイル変換の所要トークン数の制限値チェック
Excel_To_QA_Claude_convert_to_csv	サブ	ExcelファイルのQA変換結果をCSVファイルに出力

コネクション設定

コネクタータイプ	REST接続
URL設定	https://api.anthropic.com

可変長書き込み設定

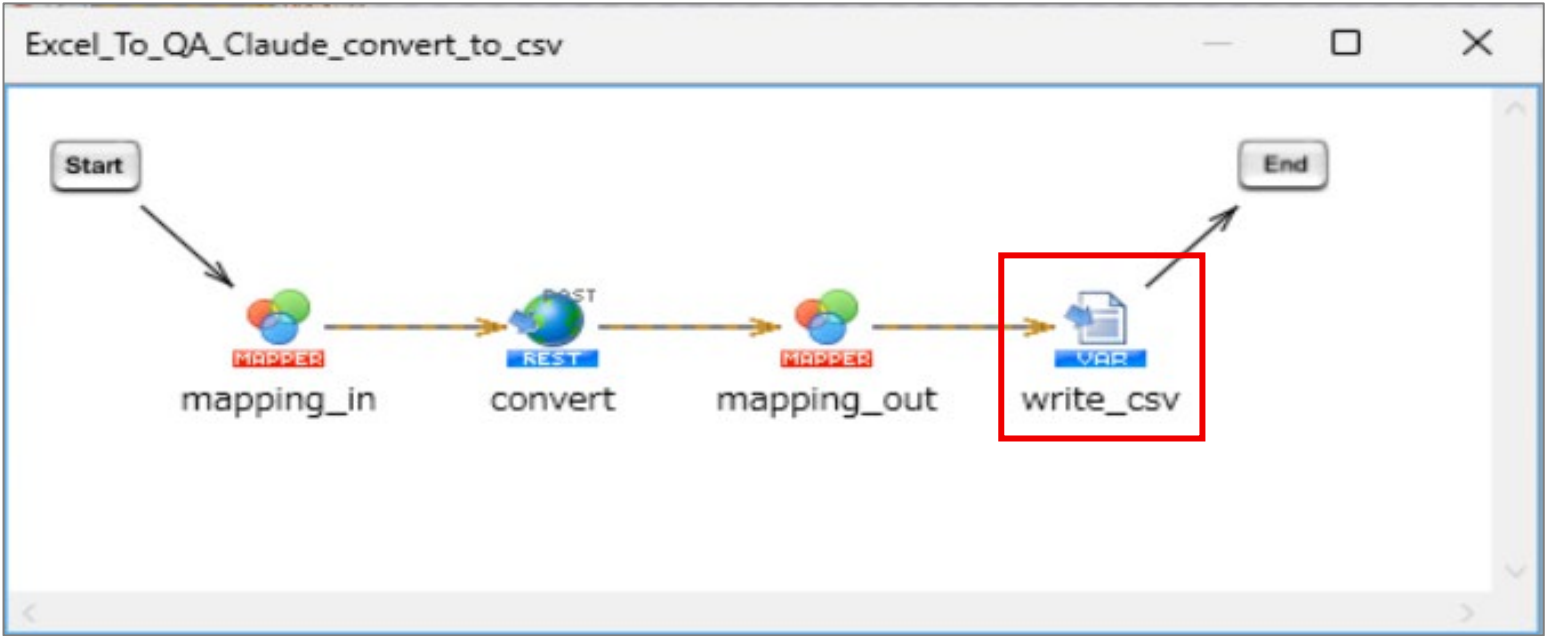
Claudeのレスポンスをファイルに書き出す際に、「可変長書き込みフォーマット定義」を利用します。
後述の設定手順にて「可変長書き込みフォーマット定義」を作成のうえ、可変長書き込み処理コンポーネントのプロパティ設定ダイアログにて、フォーマットの設定を行ってください。

<可変長書き込み 設定手順>

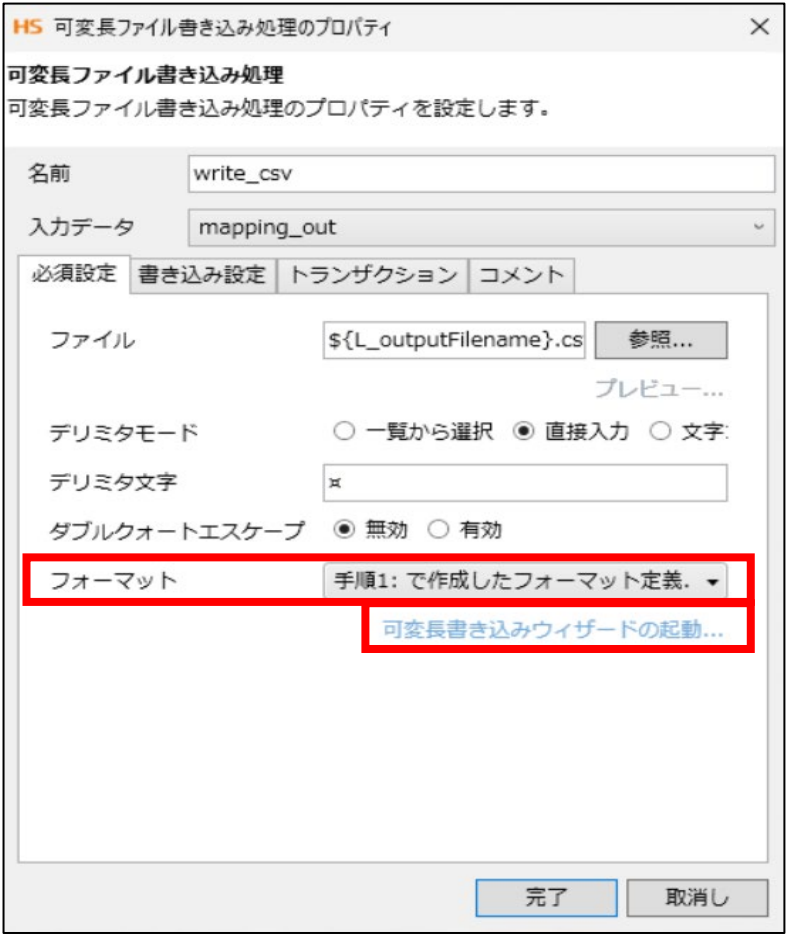
1. HULFT Squareサイト > データ形式 から「新規追加」を選択し、「可変長書き込みフォーマット定義」を作成してください。
※ 「名前」「ワークスペース」には任意の値を設定してください



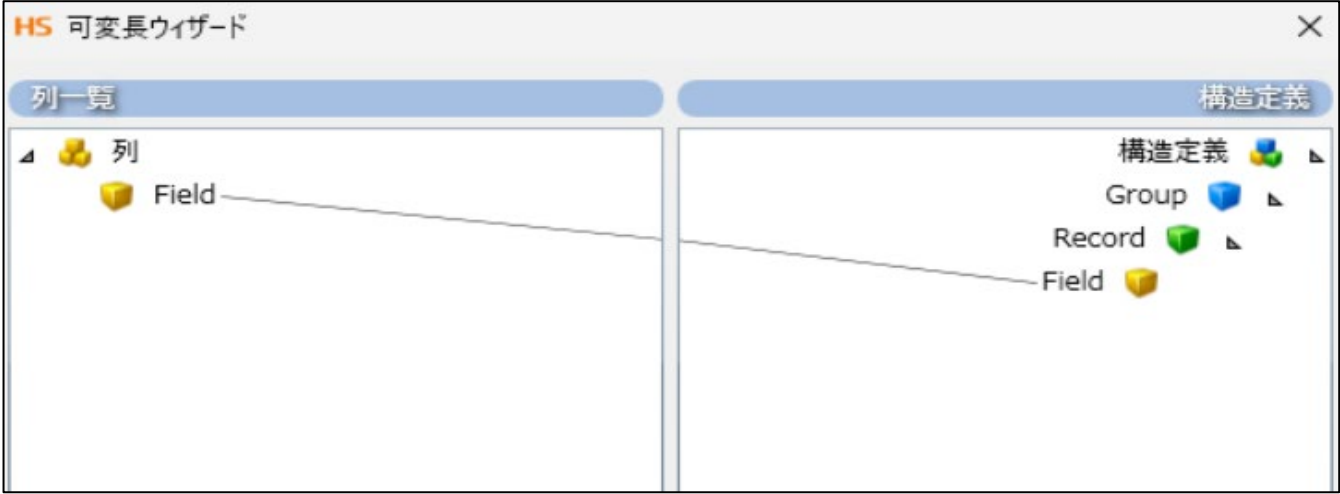
2. デザイナーで「Excel_To_QA_Claude_convert_to_csv」スクリプトを開き、「write_csv」コンポーネントを開いてください。



3. プロパティ設定ダイアログにて、「フォーマット」に手順1.で作成した可変長書き込みフォーマット定義を選択し、「可変長書き込みウィザードの起動...」を押してください。



4. 可変長ウィザードにて、「列一覧」「構造定義」を以下の通りに設定してください。

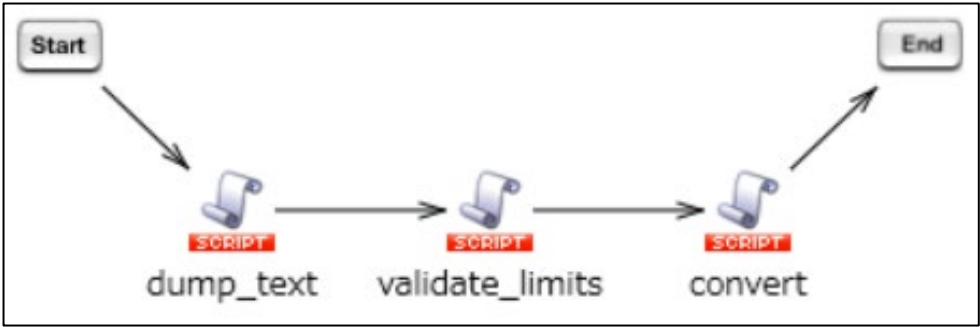


可変長書き込み設定は以上です。

スクリプト名

Excel_To_QA_Claude_convert

LLM（Claude）を用いて、指定したEXCELファイルをQA形式のCSVファイルに変換します。



初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
l_anthropicAPIKey	必須	事前に取得したAPIキー
l_modelName	必須	利用するAIモデル名
l_inputTokensLimitation	省略可	インプットトークン数の制限値 (初期値：2200)
l_inputFile	必須	Excelファイルのフルパス
l_sheetName	必須	Excelファイルのシート名
l_columnCount	必須	変換したいデータの列数 (最大500を指定可)

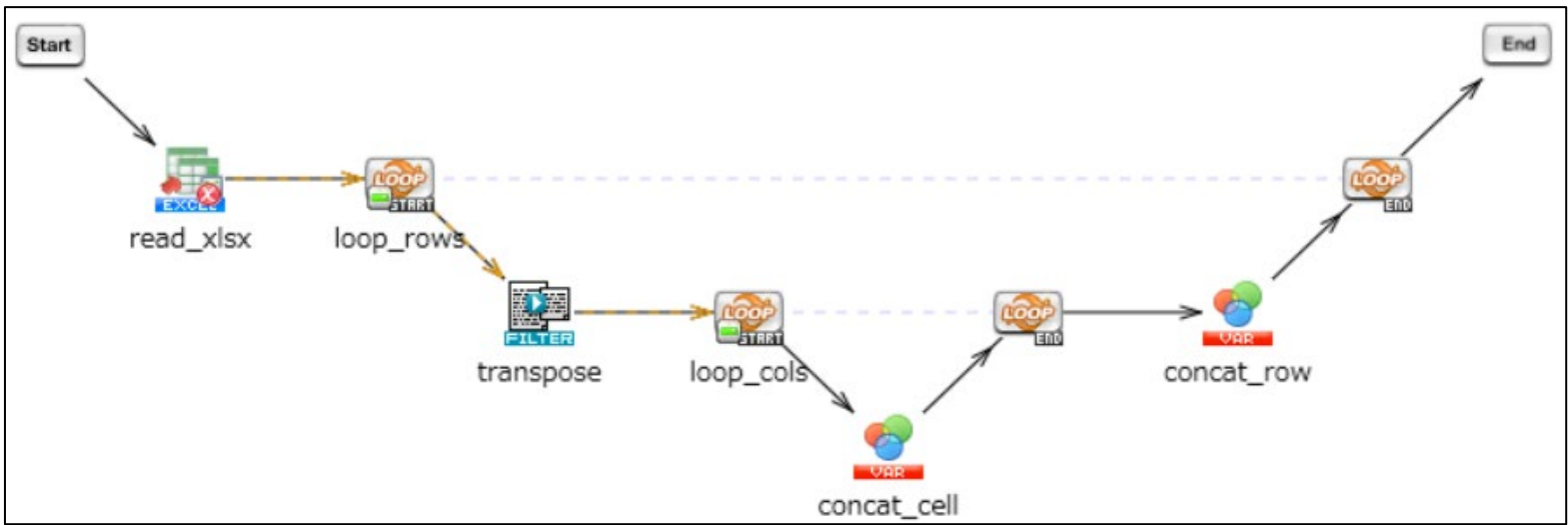
備考

スクリプトコピー後、実行前にスクリプト呼び出しコンポーネントを開き[完了]ボタンを押下

スクリプト名

Excel_To_QA_Claude_dump_sheet_text

指定したExcelファイルのシートからデータを抽出



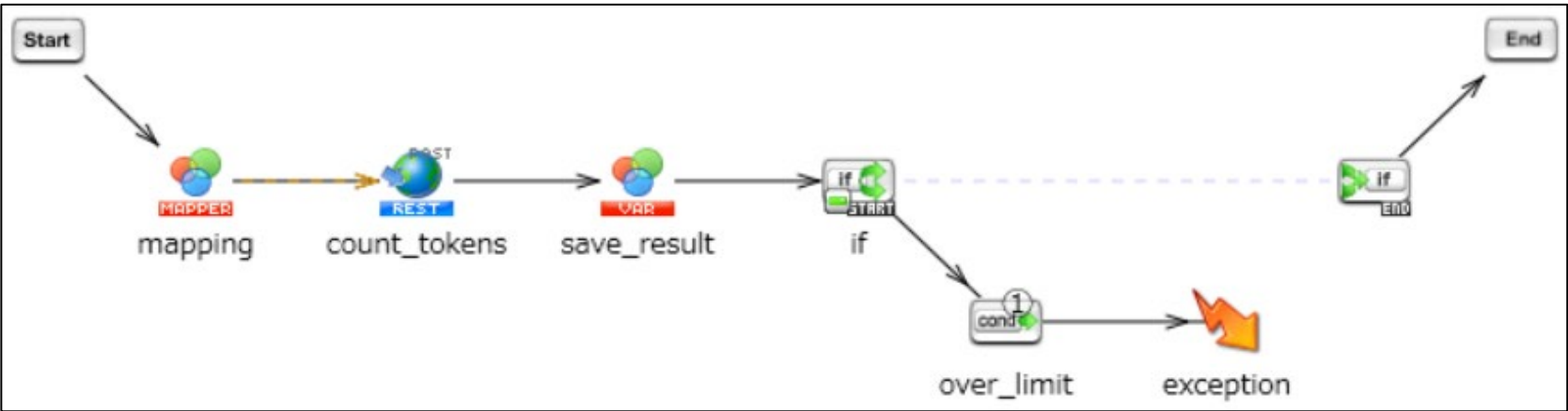
初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
なし	-	-

スクリプト名

Excel_To_QA_Claude_validate_limits

指定したExcelファイルのシートから抽出したデータのトークン数の制限値をチェックします。



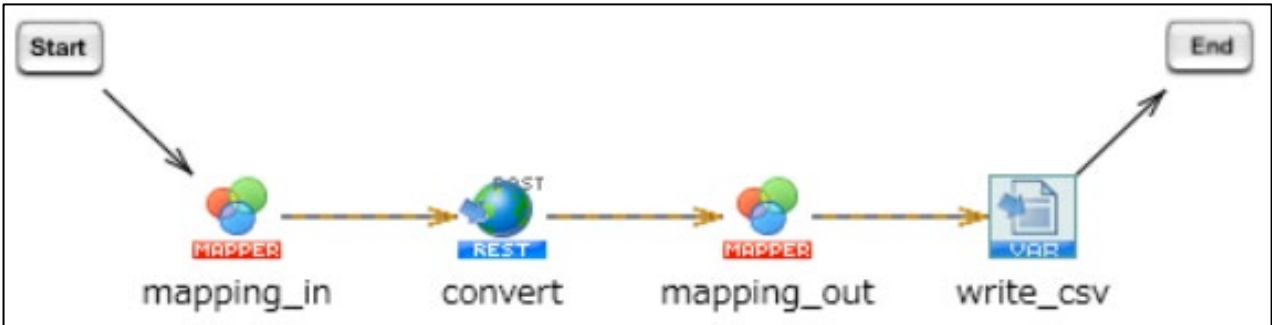
初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
なし	-	-

スクリプト名

Excel_To_QA_Claude_convert_to_csv

ClaudeにリクエストしたQA分割結果を可変長ファイルとして出力し、CSVファイルに変換します。



初期設定項目(スクリプト変数)

項目名	必須/省略可	説明
なし	-	-